



口之津小学校 学校だより

希望の丘から

希望の丘で本物の口之津っ子を育てます。

令和6年6月24日

6年度 第4号

校長 本村 英治

学校だより「希望の丘から」タイトルは、校歌の歌詞「希望の丘の学舎は」から採用しました。口之津っ子の成長をお伝えしていきます。

CS だより③

ふるさとの海をみんなで美しく！

白浜海岸清掃



6月14日（金）、白浜海岸清掃が、口之津中の生徒会を中心に実施され、小学校からも4・5・6年生が参加しました。この行事は、口之津小・中の児童生徒に加え、口之津海上技術学校、口之津船員会の皆さん、有志の皆さんが、南島原市の協力の下、継続して実施されています。今回は、市教委の狩野指導主事、県教委の原指導主事も参加されました。



よく晴れて気温も上がったのですが、全員が、それぞれの持ち場で中学生、海校生と協力して、浜に打ちあがったごみや木の枝を時間いっぱい回収しました。いっしょに作業をする中で、多くの人と協力する経験をし、美しいふるさとの風景を心に刻んでくれたものと思います。作業を終えて解散式では、6年の[]さんが、「みんなで協力してきれいになったのでうれしい。いつもきれいな海岸であってほしい。」と述べて、この活動を締めくくってくれました。

校種間を越えた児童生徒と地域の皆さんが、協働して地域の大切な海を美しくするという素晴らしい趣旨の行事です。今後も長く続いてほしいと願っています。

口之津っ子の心を見つめる教育週間

本日6月24日から、教育週間が始まります。期間中は、授業をはじめとする教育活動を公開します。多くの皆様に子どもたちの日常の様子や教育活動をご覧いただきたいと思います。多数ご来校ください。

口之津っ子の
心を見つめる教育週間

令和6年6月24日（月）～28日（金）

学校開校時間 午前の部 9:35～12:10
午後の部 14:00～15:45

- ・14日（金）白浜海岸清掃
- ・20日（木）PTA 朝の読み語り
- ・21日（金）ふるさと学級連絡委員会
- ・25日（火）校舎講義
- ・25日（火）授業参観・学級会（2・4・6年）
- ・26日（水）5年生ふるさと学習（数科の方との調理実習）
- ・27日（木）授業参観・学級会（1・3・5年）
- ・27日（木）国語読友の会 朝の読み語り
- ・27日（木）PTA本部役員会

「希望の丘」で本物の口之津っ子を育てます！
口之津っ子の心を見つめる教育週間
ふるさとの海を美しく！

学校だより「希望の丘から」は、ホームページにも公開しています。
南島原市教育委員会のホームページ、または右のQRコードからどうぞ。



CS だより④チーム名は「オールくちのつ」 口之津地区地域学校協働本部会議



6月6日（木）に、今年度1回目の口之津地区地域学校協働本部会議が開かれました。この会議は、学校運営協議会と連動して、子どもたちの成長を支えていくための体制構築と活動を進めていくものです。本校は、昨年度から引き続き、多くの教育活動にご支援をいただいている、地域の皆さまの熱い思いを感じています。今年度、協力団体が、33団体になりました。新たな団体は、口之津史談会、口之津図書館友の会、口之津町船員会です。既に戦争体験講話、読み語り、白浜海岸清掃で各団体にはお世話になっています。

昨年度からの協議事項として、この会のチーム名の考案があったのですが、今回、会員皆さんの賛同により決定しました。チーム名は「オールくちのつ」です。「オール」には2つの意味があり、一つは「すべての人」という意味と、船のオールで「推進力」の源という意味です。「オールくちのつ」の皆さん、今後ともご支援よろしくお願ひします。



地域の皆さんから「ふるさと」を学ぶ 生活科、総合的な学習の時間

運動会後、子どもたちは地域に学びの場を広げ、地域の皆さんの言葉や姿勢を通じて「ふるさと口之津」を学んでいます。1年生のひまわり植栽や白浜海岸造形遊び（予定）から6年生の口之津ヒストリア（歴史探究）まで、学年の発達段階に応じた体験的・探究的な学習活動が行われています。ご協力、ありがとうございます。

5年生は、「未来につなぐ ふるさとレンジャー」という単元で、ふるさとに生きる皆さんの仕事について調べています。これは、中学校の職場体験や個人研究につながる学習でもあります。6月11日から4日連続で、様々な職種の方に来校いただき、仕事の実際について教えていただきました。子どもたちは、様々な職業の実際を学び、視点に沿って苦労や工夫といったことを興味深く質問していました。さらには仕事の現場へ訪問させていただくなどのご配慮もいただいています。各学年、これらの成果を秋の研究発表会で公開する予定です。

すべての人が、誇りに思える口之津に

先日、残念なこともありました。それは、町内の複数の公共施設に落書きがあり、本校児童の名前もあって、本人が心を痛めたという事例です。落書き自体は以前からあったようで、不特定多数により、書き足されていった状況のようです。このことについて、生活指導主任から全校児童に指導を行いました。

地域で育てたい子ども像に、「ふるさとに誇りを持てる口之津っ子」があります。ふるさと口之津のすばらしさを日常から学んでいるのに、落書きのようなものが普通にあること、何気なく書き足していた人がいるのは、残念で悲しいことです。子どもたちには、もう一度このことを考えさせたいと思います。

すべての人が誇りに思える口之津であるために、私たち大人も改めて意識をもちたいものです。

